

第477回白石市議会定例会 一般質問一覧表

質問 順位	議席 番号	会派名 議員名	質問事項	答弁を 求める者
1	11番	新風未来の会 大内卓也	1. 仙台南部工業団地分譲方式見直しに伴う誘致戦略について	市長
2	10番	新風未来の会 佐久間順子	1. 高齢者の移動手段確保とシニアカー購入支援について 2. 地方創生を支える地域雇用マッチングについて	市長
3	9番	新風未来の会 佐久間儀郎	1. 身寄りのない単身高齢者への支援について	市長
4	1番	信志の会 角張大治	1. 第六次白石市総合計画に係る成果指標について 2. 指標・目標値の適正性について 3. 第六次白石市総合計画の基本計画について	市長
5	3番	日本共産党 佐藤龍彦	1. 本市の公共交通の現状について	市長
6	8番	公明党 大森貴之	1. 人的受援計画の実効性と必要人員の事前掌握について	市長
7	15番	新風未来の会 四竈英夫	1. 地球温暖化への対応について 2. 小中学校のプール活動について	市長 教育長
8	2番	信志の会 村上由紀	1. 白石市立小中学校のあり方に関する基本方針(案)について	市長 教育長
9	4番	自民市民の会 高子秀明	1. 入札契約事務について	市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 20 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 仙台南部工業団地分譲方式見直しに伴う誘致戦略について

【質問項目】

- (1) 分譲方式をレディーメード方式に見直した理由を伺う。
- (2) レディーメード方式での造成可能と判断できた理由を伺う。
- (3) 今後の分譲開始に至るまでの具体的なスケジュールについて
- (4) 造成する区画の総事業費の見込み、分譲価格の設定について
- (5) 今回の見直しによる市の財政状況や見直しへの影響を伺う。
- (6) 進出を検討する企業側からの反応やニーズについて
- (7) 今後はどのような企業誘致活動を展開していくのかを伺う。

【質問要旨】

仙台南部工業団地について、これまでオーダーメード方式を前提として検討が進められてきたが、今般、レディーメード方式へと見直されたことは、機動的かつ迅速な事業展開を図れると期待している。この方式変更を契機として本事業をより確実なものとし、早期の企業誘致と地域経済の活性化につなげていくことが極めて重要であると考えているが、本市の見解を伺っていく。

- (1) 今回、分譲方式を現行のオーダーメード方式からレディーメード方式に見直すこととした具体的な理由について伺う。
- (2) 今回、なぜレディーメード方式による造成が可能と判断できたのか、その背景にある見解や根拠について伺う。
- (3) 方式の変更を踏まえ、今後の分譲開始に至るまでの具体的なスケジュールについて伺う。
- (4) 今回造成する区画の総事業費の見込みと、それに基づき現在想定されている分譲価格の設定について伺う。
- (5) 今回の分譲方式の見直しは、今後の市の財政状況や財政見直しにどのような影響を与えるのか、その見解について伺う。
- (6) これまでの企業訪問等において、進出を検討する企業側からどのような反応やニーズが寄せられているのか、その状況について伺う。
- (7) これまでに得られた企業の反応やニーズ、そしてレディーメード方式という新たな強みを活かして、今後は具体的にどのような企業誘致活動を展開していくのか、その意気込みと戦略について伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 20 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	10 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 高齢者の移動手段確保とシニアカー購入支援について

【質問項目】

- (1) 高齢者の移動手段について
- (2) 運転免許返納後の支援について
- (3) 介護予防と外出支援について
- (4) シニアカーの利用実態について
- (5) シニアカーの購入補助について

【質問要旨】

- (1) 本市における高齢者の移動手段確保について、現在どのような課題があるかと認識しているのか伺う。
- (2) 本市における運転免許自主返納者数の推移と、返納後の移動支援についてどのように考えているのか伺う。
- (3) 高齢者の外出機会を確保することは、健康維持や介護予防、さらには健康寿命の延伸にもつながると考える。本市の認識を伺う。
- (4) シニアカーの利用に関する市民からの相談や要望について、市では把握しているのか伺う。
- (5) 高齢者の自立支援や外出機会の確保、健康寿命の延伸という観点から、シニアカー購入費補助制度の創設について市長はどのように考えているのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 20 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	10 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 地方創生を支える地域雇用マッチングについて

【質問項目】

- (1) 市内企業の人手不足について
- (2) 多様な働き方への対応について
- (3) 地域雇用マッチングについて
- (4) 生きづらさを抱える方の就労支援について
- (5) 地方創生と地域雇用マッチングについて

【質問要旨】

- (1) 現在、市内企業の人手不足の現状と課題について、本市はどのように認識しているのか伺う。
- (2) 子育てや介護、高齢など、さまざまな事情により、フルタイム勤務が難しくても、「短時間なら働ける」「空いた時間なら働きたい」と考える方がおられると思います。このような多様な働き方への対応について、本市の考えを伺う。
- (3) 地域の人材と市内企業を結びつける地域雇用マッチングは、人手不足の解消と多様な働き方の実現の両面で有効な手法の 1 つと考えますが、本市の見解を伺う。
- (4) 地域雇用マッチングの仕組みは、子育て世代やシルバー世代だけでなく、障害のある方や、さまざまな生きづらさを抱える方の就労機会の拡大にもつながる可能性があると考えます。こうした方々の新たな就労の選択肢として、地域雇用マッチングを活用することについて、本市の見解を伺う。
- (5) 人材を確保しやすい地域であることは、市内企業の持続的な成長だけではなく、企業誘致や移住・定住の促進にもつながるものと考えます。また、地域雇用マッチングは、担当課だけで進めるのではなく、商工、福祉、教育、子育て、高齢者支援、さらには地方創生を担う関係部署が連携して取り組むことで、より大きな効果を発揮できるものと考えます。地方創生の観点から、庁内横断的な連携のもと、地域雇用マッチングを推進していくことについて、本市の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 21 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	9 番 佐久間 儀郎
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 身寄りのない単身高齢者への支援について

【質問項目】

- (1) 単身高齢者の現状と将来の見通しについて
- (2) 入院や介護施設入所時の保証人確保困難事例について
- (3) 成年後見制度や権利擁護支援の取組状況について
- (4) 終活や人生の最終段階を見据えた支援体制の整備について
- (5) 身寄りのない高齢者の早期把握と支援仕組みづくりについて

【質問要旨】

近年、少子高齢化、未婚率の上昇、核家族化の進展により、身寄りのない単身高齢者が全国的に増加しております。高齢になっても元気なうちは問題なく生活できていても、病気や認知症、介護が必要になった時、あるいは人生の最終段階において様々な課題が顕在化いたします。例えば、入院時の保証人がいない、施設入所時の身元引受人が確保できない、判断能力低下後の財産管理ができない、さらには亡くなった後の火葬や納骨、遺品整理など死後事務を担う人がいないといった問題であります。こうした問題は今後、本市においても確実に増加していくものと考えます。そこで伺いたします。

- (1) 本市における 65 歳以上の単身高齢者の現状と将来見通しをどのように認識しているのか。
- (2) 入院や介護施設入所時に保証人、身元引受人の確保が困難となる事例を把握しているのか。
- (3) 成年後見制度や権利擁護支援の取組状況について。
- (4) 終活支援、エンディングノート、死後事務支援など人生最終段階を見据えた支援体制の整備について検討すべきと考えるが、市長の見解を伺う。
- (5) 地域包括支援センターや社会福祉協議会、民生委員との連携をさらに強化し、身寄りのない高齢者を早期に把握し支援につなげる仕組みづくりが必要と考えるが、市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 22 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	1 番 角張 大治
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 第六次白石市総合計画に係る成果指標について

【質問項目】

(1) アウトプット指標・アウトカム指標について

- ① 成果指標が統一のゴール設定ではない理由を伺う。
- ② 成果指標はアウトカムを基本としてはどうか。

【質問要旨】

(1) アウトプット指標・アウトカム指標について

「アウトプット指標」とは、行動や活動から直接得られる目に見える成果物を指す（例えば、「講座を何回開催したか」「何人が参加したか」など）。アウトプットは比較的短期間で評価でき、進捗確認や目標設定に活用されるが、それ自体が必ずしも良い結果を保証するわけではない。
「アウトカム指標」とは、アウトプットによって引き起こされる変化や効果を指す（例えば、「講座を受けたことで参加者の理解度が向上した」「生活習慣病の重症化率が低下した」など）。アウトカムは中長期的な視点で評価する必要があり、アウトプットがあれば必ず得られるわけではない。つまり、「何のためにその事業を行っているのか」という最終的なゴールから指標を考え、得られた結果を適切に評価することが重要であると考えている。

- ① 第六次白石市総合計画の基本計画の項において成果指標が定められているが、アウトプット指標とアウトカム指標が統一感無く記載されている。見直しに際して統一のゴール設定としなかったのはなぜか。
- ② 指標や成果設定（KPI等）はアウトカム指標での設定を基本とすべきと考えるが見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 22日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	1 番 角張 大治
会派名	信志の会

【質問事項】 2. 指標・目標値の適正性について

【質問項目】

- (1) 「本市に住み続けたいと思う割合」について
 - ①実績値推移と本市人口の社会減の相関関係を伺う。
 - ②目標達成で何が解決するのか、またその根拠を伺う。
- (2) 「学校支援ボランティア活動回数」について
 - ①活動回数の減少が教育力にあたえる影響を伺う。
 - ②目標値の引下げが教育力向上の後退に繋がらないかを伺う。
- (3) 「交通安全・防犯対策の充実」について
 - ①行政が行う具体的な取り組みは何かを伺う。
 - ②人身事故件数の増減に因果・相関関係はあるかを伺う。

【質問要旨】

「適正」とは、基準や条件に合って適切で正しいこと。対象（数量・価格・手続き等）指標が「適正」でかつ目標値も妥当な設定がなされている場合において、その目標値が達成された場合の状態をどのように想定しているのか以下の項目について伺う。

- (1) 「本市に住み続けたいと思う割合」について
 - ①「本市に住み続けたいと思う割合」の実績値推移と本市人口の社会減の相関関係をどのように分析し関係性があるか考えるか伺う。
 - ②「本市に住み続けたいと思う割合」が目標値を達成した場合、具体的にどのような課題解決に寄与するのか。また、その言える根拠を伺う。
- (2) 「学校支援ボランティア活動回数」について
 - ①「学校支援ボランティア活動回数」の見直しについて、「学校支援ボランティア活動回数」が「地域・家庭の教育力向上」とどのような関係性があるのか。実績値は減少傾向だが、教育力にどのような影響を与えているかを伺う。
 - ②「学校支援ボランティア活動回数」が「地域・家庭の教育力向上」に寄与する場合、目標値を引き下げること「地域・家庭の教育力の向上」の引き下げ要因にはならないか伺う。
- (3) 「交通安全・防犯対策の充実」について
 - ①「人身事故件数」を指標に見直しているが、行政機関が行える範囲での事故を減らすと考える具体的な取り組みを伺う。
 - ②その取り組みの取り組み注力度と「人身事故発生件数」の増減の因果関係・相関関係を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8年 8月 22日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	1 番 角張 大治
会派名	信志の会

【質問事項】 3. 第六次白石市総合計画の基本計画について

【質問項目】

- (1) 基本計画内の成果指標の位置づけについて
- (2) 議会の議決の要否について

【質問要旨】

2011年の地方自治法の改正前は、自治体には基本構想を作成し議会の議決を要することが義務付けられていたが、その作成を義務付ける規定自体が削除され、完全に任意となった。それ以降は自治体により、①基本構想②基本計画③実施計画という従来型を維持するところもあれば、基本構想＋基本計画だけにする自治体、全てひとまとめでした総合計画（長期計画一本）という自治体もある。

- (1) 基本計画内の成果指標の位置づけについて
先日成果指標の見直しについて説明会が開催されたが、成果指標の重要度に対する認識を伺う。
- (2) 議会の議決の要否について
白石市議会基本条例第15条「法第96条第2項の規定により、議会の議決すべき事項は、市の基本構想及び基本構想に基づく基本計画とする。」とある。
第六次白石市総合計画の第3部に基本計画とあり、全てその基本計画内に記載されている指標の見直しであるが、今後議案として提案予定はあるのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 23 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	3 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 1. 本市の公共交通の現状について

【質問項目】

- (1) 公共交通空白地域の認識を伺う。
- (2) 小原地区での利用実績及び白川地区の進捗状況について
- (3) 地域内交通についての課題を伺う。
- (4) 地域内交通の課題解決に向けての取組について
- (5) 乗合タクシーの利用実績について
- (6) 新たに乗合タクシーの実証実験を行う考えはあるか。
- (7) 土日・祝日の市民バスの運行の拡大について
- (8) バス停の環境改善について
- (9) 免許取得費用の助成について
- (10) 今後の公共交通空白地域の解消に向けての考えを伺う。

【質問要旨】

- (1) 本市の「公共交通空白地域」についての認識を伺う。
- (2) 「地域内交通」について、小原地区での利用実績及び白川地区での進捗状況を伺う。
- (3) 「地域内交通」についての課題を伺う。
- (4) 「地域内交通」の課題を解決するために、どのように取組んでいく考えなのか伺う。
- (5) 現在、運行されている乗合タクシーの2路線（緑ヶ丘線・小久保平線）について、利用実績の推移（過去3年分）を伺う。
- (6) 今後、新たに乗合タクシーの実証実験を実施する考えはないのか伺う。
- (7) 市民バスの多くの路線で、土日・祝日は運休となっているが、イベント等がある際に、利用出来ないとの声が寄せられている。今後、土日・祝日の市民バスの運行を拡大する考えはないのか伺う。
- (8) 冬の寒さや夏の暑さ、雨風をしのぐための「屋根等」をバス停に設置出来ないのか伺う。（小中学校の周辺や利用実績の多いバス停など）
- (9) 全国的に深刻化しているバス・タクシー運転手の人材確保のために、免許取得費用の助成など支援する考えはないのか伺う。
- (10) 本市は、今後どのようにして「公共交通空白地域」を解消し、市民の生活の「足の確保」を目指していく考えなのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 23 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	8 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 1. 人的受援計画の実効性と必要人員の事前掌握について

【質問項目】

(1)本市の人的受援体制を伺う。

- ①人的応援受け入れに関する計画を策定しているのかを伺う。
- ②計画の策定期限、直近の見直し、計画の対象業務を伺う。
- ③災害時、各業務において必要となる職員数を伺う。
- ④災害時、各業務において不足が見込まれる職員数を伺う。
- ⑤人的応援を要請する判断基準は明確かを伺う。
- ⑥県や協定自治体への要請ルートは明確かを伺う。
- ⑦応援職員の受け入れ態勢は整備されているのかを伺う。
- ⑧受援計画に基づく全庁的な訓練は行われているのかを伺う。

【質問要旨】

1. 人的受援計画の実効性と必要人員の事前掌握について

本市職員が被災し、十分に参集できない場合でも、応援職員を速やかに受け入れ、住民対応を停滞させない体制になっているか伺う。

(1) 本市の人的受援体制を伺う。

- ①大規模災害では、避難所運営、物資供給、罹災証明などの業務が急増し、本市だけで対応することは困難。平時から受援体制を整備することが求められる。
- ②令和6年4月時点で市町村の受援計画策定率は78.5%。本市ではいつ策定され、見直しは行われているのか。大規模災害では、業務が急増し、本市だけで対応することは困難。本市が考えている人的支援を必要とする業務は何か。
- ③、④避難所運営、住宅居被害認定、罹災者相談などについて、災害時に必要となる職員数と、不足が見込まれる職員数を事前に算定しているのか伺う。
- ⑤、⑥被害状況が完全に判明するまで待っていると、応援要請が遅れることがある。そこで、誰が、どの時点で、どこに要請するのか伺う。
- ⑦応援職員が到着しても、机、端末、通信環境、宿泊場所がなければ十分に活動出来ない。国は令和6年能登半島地震での課題から、執務スペースの確保手順や宿泊可能施設のリスト化などを受援計画に位置付けるよう求めている。当市の状況を伺う。
- ⑧災害時応援協定は、内閣府の改訂手引きでは、協定が実際に機能するよう平時から点検すべき項目が追加されている。協定自治体との情報交換や、応援職員受け入れを想定した全庁による訓練を実施したことはあるのか。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 24 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	15 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 地球温暖化への対応について

【質問項目】

- (1)現在取り組んでいる温暖化対策を伺う。
- (2)これから取り組もうとしている温暖化対策を伺う。
- (3)温暖化対策を進めるに当たっての問題点があれば伺う。
- (4)市民に対してどんなことを呼び掛けたいかを伺う。

【質問要旨】

近年、異常気象・短時間異常降水・ダムの異常渇水などの気象災害が続いています。これは地球温暖化による気温・海水温の上昇といった人的要因と、エルニーニョ現象や大気の流れなどがもたらす自然要因が重なり積乱雲や台風が激甚化頻発化することなどが原因といわれています。宮城県内35市町村の平均気温は2018年度の約12.9度から2024年には約14.0度となり、6年で1.1度上がったというデータもあります。そうした中で身近にできる地球温暖化対策としては、日々の生活の中での「省エネ」や「無駄を無くすこと」とされています。照明やテレビをこまめに消す。エアコンの温度を適度にする。移動の工夫として近距離は歩くか自転車を使い、遠くは公共交通機関を利用する。マイバッグを使う。使い捨てのプラスチックを減らす。などが挙げられています。

そうした個人的な対策と共に、行政としての対策も当然必要になってきます。そこで本市の地球温暖化対策について伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 24 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	15 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 小中学校のプール活動について

【質問項目】

- (1) 夏休みのプールがなくなったことについてを伺う。
- (2) 児童・生徒の成長過程で水泳体験は必要と思うが所見を伺う。
- (3) プールに代わる代替プログラムを検討されているか伺う。
- (4) 将来学校のプールの整備について検討されているか伺う。

【質問要旨】

学校の夏休みと言えば「プールでの水泳」が定番でしたが近年はプールでの水泳や水遊びが少なくなりました。現在、自校のプールで授業が行われているのは市内4校のみとのことです。これは猛暑による生徒への影響を考慮してのことが主な要因かと思われませんが、プールの老朽化も原因だと思います。夏休みのプールがなくなることは、泳ぎを知らない児童・生徒が増えるということになり、成長過程に問題が出てくるのではないかと思います。そこで、次の点について伺います。

【答弁を求める者】 教育長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 24日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	2 番 村上 由紀
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 白石市立小中学校のあり方に関する基本方針(案)について (1 / 3)

【質問項目】

- (1) 学校再編の考え方と判断基準について
 - ① 基本方針（案）策定において最も重視した理念を伺う。
 - ② 義務教育学校を選択した理由について
 - ③ 義務教育学校の課題の認識を伺う。
 - ④ 義務教育学校の課題への対応について
 - ⑤ 小規模校として存続する判断基準について
- (2) 廃校後の学校施設の判断基準と指定避難所機能について

【質問要旨】

令和16年を目標に、市内小中学校を3校へ再編する「小中学校あり方基本方針（案）」が示されている。学校再編は、子どもたちの教育環境や保護者の生活、地域コミュニティ、今後のまちづくりにも関わる重要な政策である。そこで、基本方針（案）の考え方と再編に伴う課題への対応について伺う。

- (1)
 - ① 学校再編は子どもたちの教育環境を大きく左右する政策である。基本方針（案）策定に当たり、最も重視した理念、判断の根拠となった考え方を伺う。
 - ② 中規模校として義務教育学校（施設一体型）を選択するに当たり、どのような評価項目を設定し、どのような学校形態と比較・検討したのか。また、白石市に最も適していると判断した理由を伺う。
 - ③ 義務教育学校では、小学1年生から中学3年生までが同じ施設で学ぶことになる。発達段階の違いによる教育面、生活面、学校運営面について、現時点でどのような課題を想定し、認識しているのか伺う。
 - ④ ③で想定する課題に対し、児童・生徒の発達段階に応じた教育環境を確保するため、教育面及び施設面で、具体的にどのような対応や配慮を行なっていくのか伺う。
 - ⑤ 再編後、小規模校として存続させる学校について、どのような条件や基準を設けて判断するのか伺う。
- (2) 廃校後の学校施設について、解体・存続・利活用の判断基準及び指定避難所としての安全性や機能をどのように維持・確保していくのか伺う。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 24日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	2 番 村上 由紀
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 白石市立小中学校のあり方に関する基本方針(案)について (2 / 3)

【質問項目】

(3) 段階的再編に伴う児童・生徒と教職員への支援について

- ① 段階的再編による児童・生徒への影響と支援について
- ② 特別な配慮を要する児童・生徒への支援について
- ③ 教職員への支援と体制整備について

【質問要旨】

- (3) ① 段階的な再編では、児童・生徒が複数回にわたり、学習環境や人間関係の変化を経験する可能性がある。こうした環境変化による心理面や学習面、人間関係への影響について、段階的な再編前から再編後まで、児童・生徒一人ひとりの変化を継続的に把握し必要な支援につなげることが重要と考える。相談窓口を含め、どのような支援・相談体制を構築していくのか伺う。
- ② 特別支援学級に在籍する児童・生徒など、環境の変化による影響を受けやすい児童・生徒については、一律ではない個別の対応が必要と考える。本人及び保護者の意向をどのように把握し、それぞれの状況に応じた支援をどのように行なっていくのか伺う。
- ③ 義務教育学校への移行に当たっては、教職員に新たな専門性や免許状の取得が必要となる場合も想定される。必要な研修や免許取得への支援、さらに段階的再編前後の教職員の業務負担を軽減するため、どのような人的支援や体制整備を行うのか伺う。

【答弁を求める者】 教育長

一般質問通告書

令和 8年 8月 24日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	2 番 村上 由紀
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 白石市立小中学校のあり方に関する基本方針(案)について (3 / 3)

【質問項目】

- (4) 段階的再編に伴う通学と家庭負担への支援について
- ① これまでの統合時の通学手段決定の経緯について
 - ② 今後の段階的再編における通学手段と安全確保について
 - ③ 段階的な再編に伴う制服等の家庭負担について
 - ④ 段階的な再編に伴う通学・経済的支援について
- (5) 学校再編の先にある白石市の未来について

【質問要旨】

- (4) ① これまでの学校統合では、斎川小学校ではスクールバスが導入され、白川中学校及び南中学校では、市民バス「キャッスルくん」が通学手段として示されている。それぞれ、どのような基準を設け、児童・生徒や保護者とのように協議し通学手段の決定に至ったのか伺う。
- ② 今後の段階的な再編において、通学手段と通学時間は、児童・生徒や保護者にとって最も重要な課題の一つである。日々の家庭生活に直結するだけでなく、将来的に現在の地域に住み続けられるかという問題にも関わる。現時点で想定している通学手段、保護者との協議方法、具体的な通学方法をいつまでに決定するのか伺う。また、荒天時や災害時を含め、通学時の安全をどのように確保するのかを伺う。
- ③ 段階的な再編に伴い、新たな制服、運動着、学用品等の購入が必要となる場合、その費用を保護者負担とするのか伺う。
- ④ 学校再編は、子どもたちの学びを広げる一方、通学距離や家庭の経済的負担など、新たな負担を生じることとも想定される。まずは、段階的再編によって生じる負担を行政としてどのように支え、通学支援や家庭への経済的支援をどのように充実させていくのか、市長の見解を伺う。
- (5) 今回の学校再編は、学校の統廃合そのものを目的とするものではなく、将来のまちづくりに直結する重要な政策であると考えている。市長は学校再編の先に、どのような白石市の将来像を描いているのかお聞かせください。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	9 番
議員名	4 番 高子 秀明
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. 入札契約事務について (1 / 2)

【質問項目】

- (1) 入札契約事務の見直し後について
 - ① 入札契約制度見直し後の変化について
 - ② 入札契約制度見直し以前との比較検証について
- (2) 入札契約結果の公開について
 - ① 入札契約結果の公開と非公開の基準について
 - ② 入札契約結果の公開について
- (3) 入札契約制度の今後の磨き上げについて
 - ① 最低制限価格と低入札価格調査について
- (4) 市内業者との関係性について
 - ① 市内業者との意見交換について

【質問要旨】

- (1) ① 指名競争入札原則廃止と条件付き一般競争入札の拡大によりどのような変化があったか伺う。
② 入札の状況において、建設工事・業務委託・物品購入のそれぞれで、市内業者の落札率は以前と比較した具体的な相違点を伺う。
- (2) ① 白石市ホームページで随時入札結果を公開するものと、そうでないものの基準についてあらためて詳しい説明を求める。
② 入札契約結果を原則公開にしていない法的根拠を伺う。
- (3) ① 予定価格を大幅に下回る落札価格を確認している。工事・業務の品質低下や結果的に市民の不利益につながると懸念する。
すべての入札契約に最低制限価格の設定と「低入札価格調査」の導入を検討してはどうか、見解を伺う。
- (4) ① 入札契約業務見直しの際、外部有識者の意見を取り入れたが、市内業者との意見交換などの場を設けなかったのか伺う。
② 入札契約制度における「公平性と透明性の確保」と、行政と共に地域を守るパートナーとしての市内業者の「なりわいの保護」のバランスについて、市長の所見を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 8 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	9 番
議員名	4 番 高子 秀明
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. 入札契約事務について (2 / 2)

【質問項目】

②入札契約制度における地域経済保護の観点について

【質問要旨】

【答弁を求める者】 市長